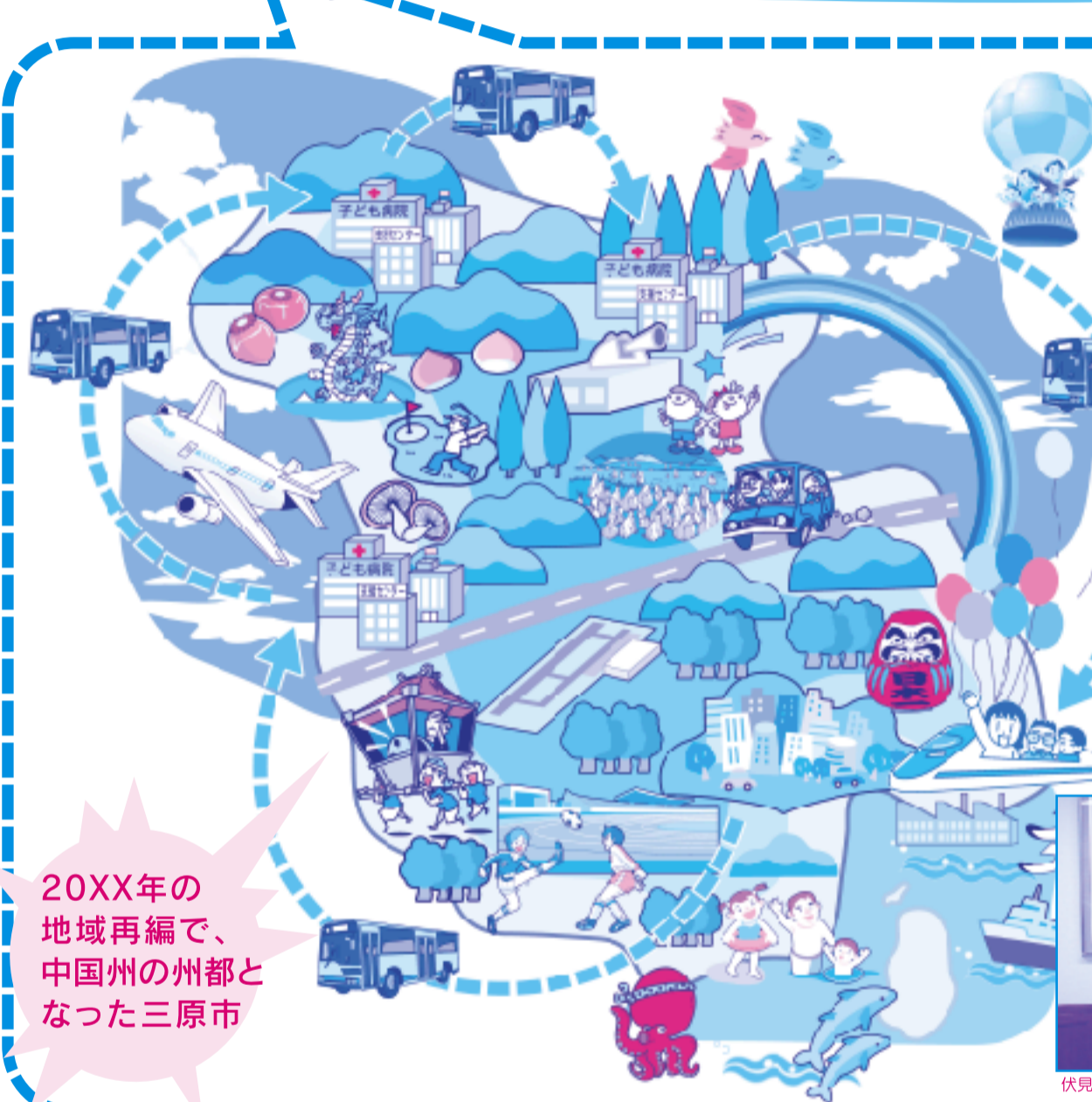




# 中国州 州都を三原に?



誇りあるオンリーワンの輝くまちになることで  
道州制が施行された先には州都が見えてくる!!



五藤市長へ新ビジョン贈呈



守岡議長へ新ビジョン贈呈



伏見会頭へ新ビジョン贈呈

## 新ビジョン、発表!!

(社)三原青年会議所

20XX年の  
地域再編で、  
中国州の州都と  
なった三原市

今年3月22日に旧1市3町（三原市・本郷町・大和町・久井町）が合併し新三原市が誕生しました。しかし行政区が変わっただけで10万人都市としての三原像が見えにくいのが現状です。同じまちに住む住民同士が連帯感を持ち、まちのポテンシャルを最大限に活かしたまちづくりをするためにも、三原市として明確なまちの方向性を確立してゆく事が必要であると考えます。これは、(社)三原青年会議所が主張している、自分達のまちの事は自分達で考え、自己責任において決定してゆく「地域主権型社会」へと移行してゆくチャンスであるとも考えます。

そこで、成熟型社会における都市間競争時代に存在感のあるまちとなるために、私たち(社)三原青年会議所の活動指針として、新ビジョンを作成しました。

## 三原JCビジョン「三原の誇想 創力」

**基本理念**  
 私たちの住むこの三原が10年、20年といった先に、都市間競争の中で存在感を示し豊かなまちであり続ける為には、このまちの持つポテンシャルを市民・NPO・企業・学校・行政が協働（相互の立場を尊重し、同じ目的に向かって協力して働くこと）で手間隙かけて活かし、創り育て続けることができる真の三原の力が必要だと考えます。そのための3つの要素として

- 資質の高い三原市民づくり
- 市民が一体感を感じられるもの
- まちのオリジナリティ（誇りあるまちの創出）

が、挙げられます。(2面へつづく)

## みたかきいたが

◆親が家庭内暴力の子どもを思い余って殺す事件が頻発している。事件が起きた家庭だけが特別ではない。そういう家庭は多くある。子供が学校にストレスを感じる理由は、学校の価値がなくなったからだ。学歴社会、学歴信仰が続いているうちは、子供も学校にムカついてはいいても、卒業したほうが得策だと耐えていた。そのメリットが

今はなくなった。いい学校を出て、いい会社就職する、ということが、意味を持たなくなったことを子供たちは気づいている。我慢しなければいけない理由がなくなったのに、押さえつけられれば、ストレスは大きい。◆それではほかに、学校に何かあるのか。金八先生や伝説の教師はいない。親がイメージしている“昔の学校”と“今の学校”は、ぜんぜん違う、別物である。親が高学歴な人ほど、学歴が通用しない社会

に変わってきていることを認識していない。そういう親が、余計に子供にプレッシャーを与えているのだと思う。◆では、どのようにかわればいいのか。社会をより理解して、現実的なアドバイスができるのは、学校の先生よりも親である。子供も内心は不安でいっぱいである。仕事にまつわる経験談など有用な話をしてゆけば、素直に耳を傾けるようになる。それで自分に何が欠けているのか気づけば、就職活動にも

光が見えてくるのではないかと。子供を導くうえで、親は決して無力ではない。いずれにせよ、何もしないでいれば、状況は変わらないのだ。

